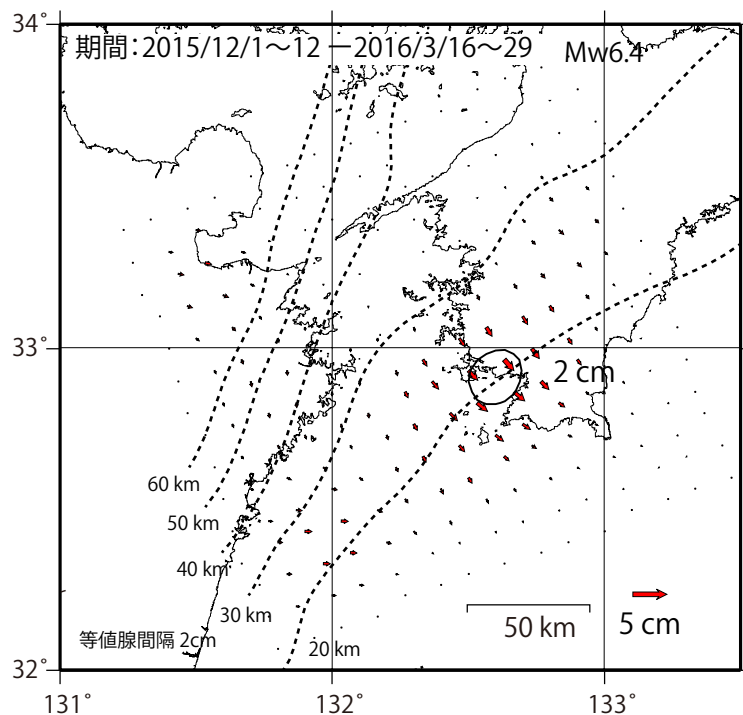


推定されたプレート境界面上の滑り分布 (1)

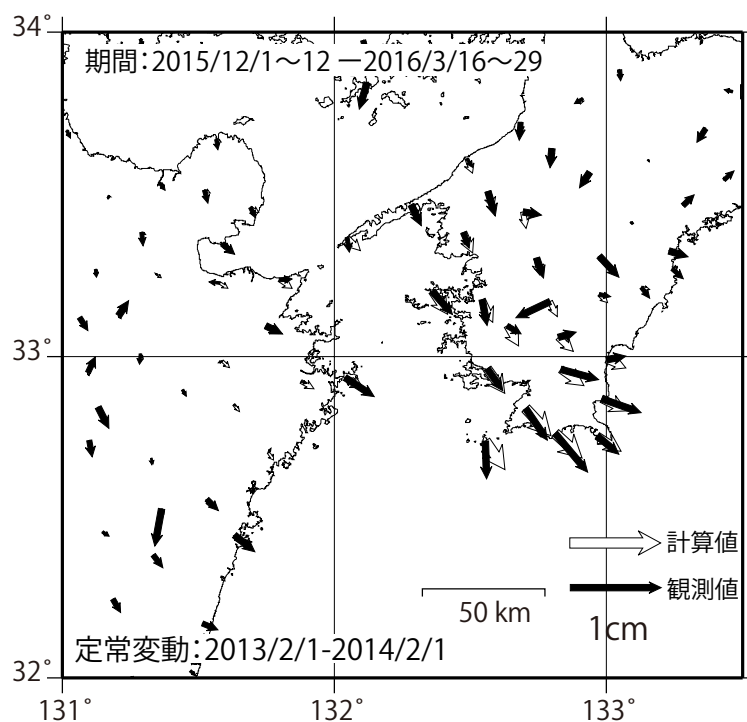
フィリピン海プレートと陸側プレートの境界で最大約2cmの滑りが推定された。

非定常地殻変動から推定されるプレート境界面上の滑り分布



- ・ 矢吹&松浦(1991) による。
- ・ 赤矢印は陸側プレートのフィリピン海プレートに対する動きを示す。
- ・ 推定される滑り量を等値線(赤実線)で示している(等値線間隔: 2cm)。
- ・ 黒破線は、沈み込むフィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他, 2007, 地震2)
- ・ 非定常地殻変動とは2013/2/1-2014/2/1の地殻変動速度からのずれを意味する

地殻変動ベクトルの観測値と計算値の比較(水平)



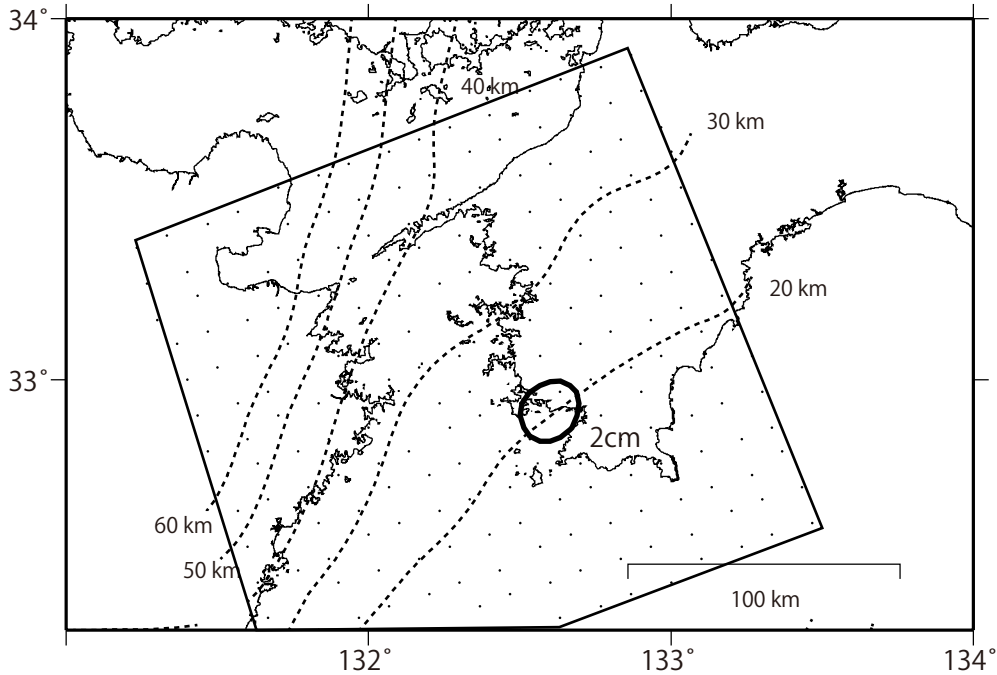
固定局: 三隅 (950388)

推定されたプレート境界面上の滑り分布 (2)

過去のゆっくり滑り (SSE) との比較

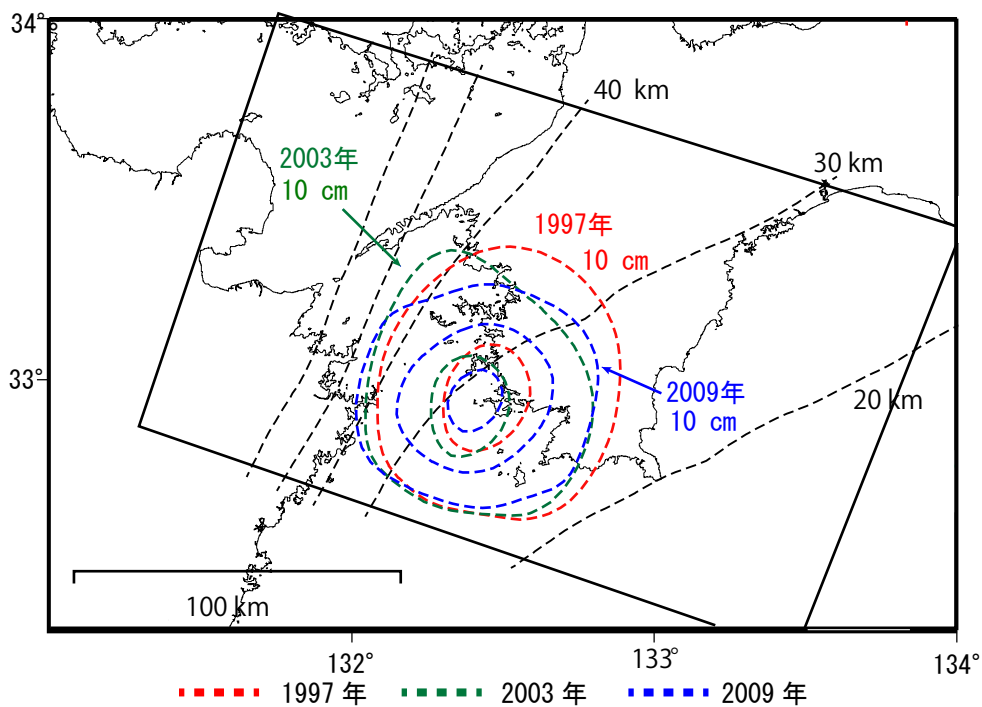
今回の滑り分布

期間:2015/12/1~12 - 2016/3/16~29



- ・当該期間の累積の滑り量を等値線 (黒実線) で示している (等値線間隔: 2cm) .
- ・黒破線は, 沈み込むフィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他, 2007, 地震2)

過去の累積滑り分布 (1997年・2003年・2009年)



- ・各時期の累積の滑り量を色分けした等値線で示している (等値線間隔: 10cm) .

※滑りを推定した領域を黒実線の矩形で示している.

※黒破線は沈み込むフィリピン海プレート上面の等深線 (Ozawa et. al. (2013) で採用したものと同一モデル) .